

ダイキン YouTube用

株価：23年をピークに50%近く下落

日付 2025/03/03 10:07 始値 15,895 高値 15,945 安値 15,730 終値 15,840



業績自体は好調。最高益達成見込み

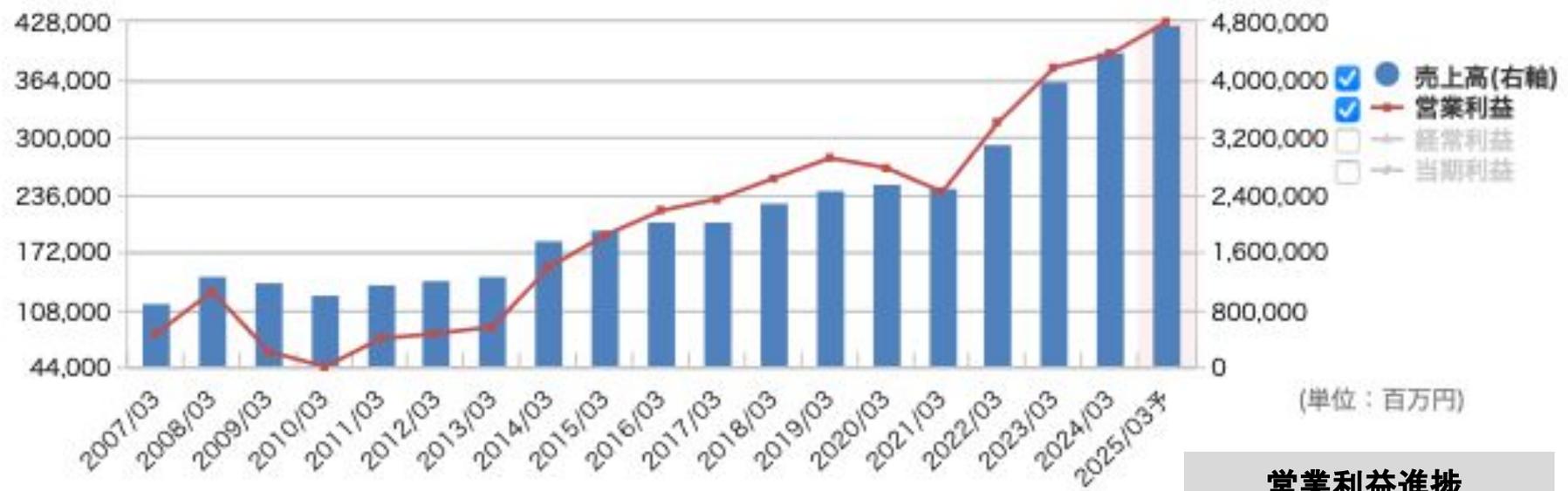
通期業績推移



全期間 

詳細: 

- 業績
- 前期比
- 指数
- 利益率
- 変動要因



**営業利益進捗
3Q時点75%**

利益率は11%→8%代まで悪化

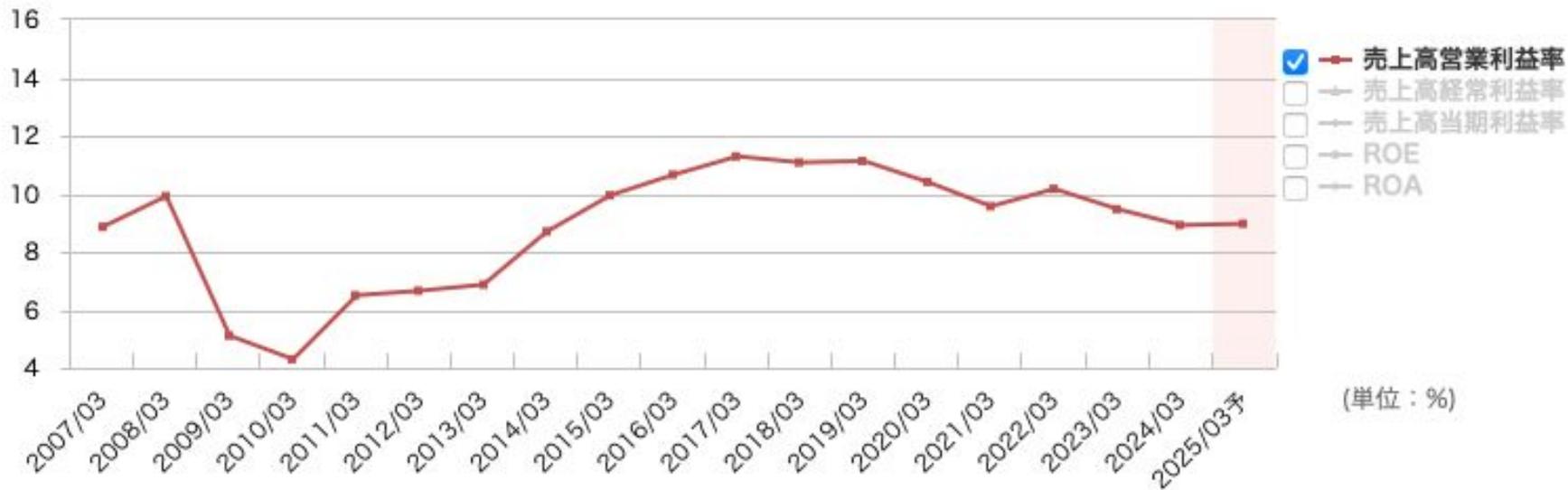
通期業績推移



業績 前期比 指数 利益率 変動要因

全期間

詳細:



(単位: %)

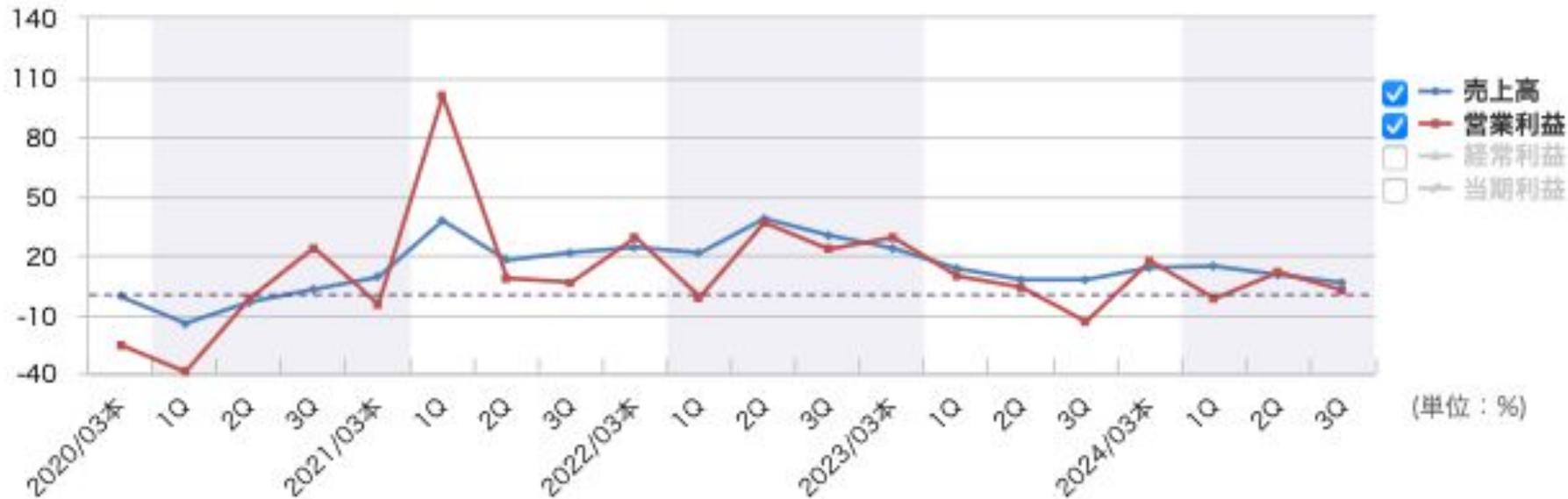
四半期毎 かるうじて前年比 +を継続

四半期業績推移 (3か月)

業績 前年比 指数 利益率

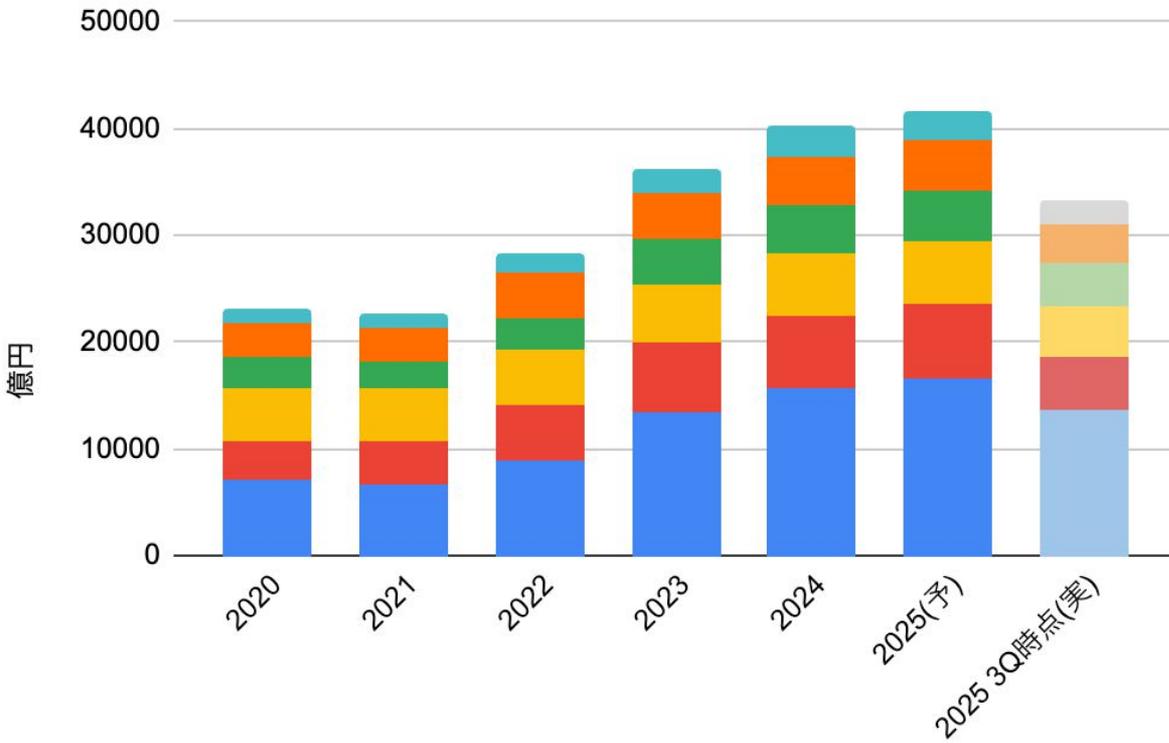
全期間 

詳細:



進捗は悪いとは言えない

ダイキン 空調事業 地域別売上高



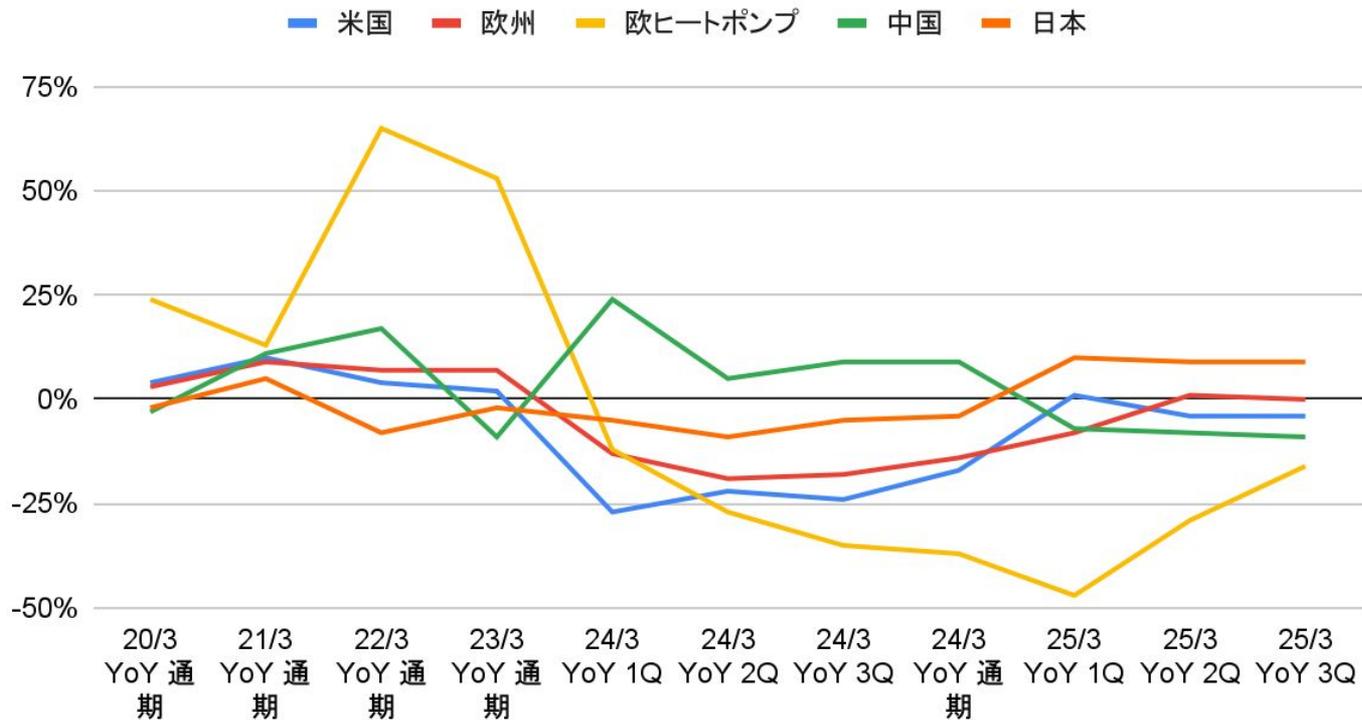
	3Q時点進捗
米州	82.48%
欧州	72.86%
日本	78.97%
アジア	82.75%
中国	79.39%
その他	83.16%
全体	80.09%

株価下落の3つの要因

地域	販路	補足	単位	20/3 YoY 通期	21/3 YoY 通期	22/3 YoY 通期	23/3 YoY 通期	24/3 YoY 1Q	24/3 YoY 2Q累	24/3 YoY 3Q累	24/3 YoY 通期	25/3 YoY 1Q	25/3 YoY 2Q	25/3 YoY 3Q累	25/3 YoY 通期	25/3 YoY 通期 計画	25/3 YoY 需要 見直し	
【空調】日本	住宅用	業界	台数	-2%	5%	-8%	-2%	-5%	-9%	-5%	-4%	10%	9%	9%		3%	-	
			ダイキン	台数	-1%	11%	6%	3%	-10%	-6%	-2%	-1%	4%	2%	2%		1%	-3%
	業務用	業界	台数	8%	-15%	1%	-9%	0%	-1%	-3%	-2%	8%	6%	4%		5%	-	
			ダイキン	台数	1%	-9%	-12%	-3%	-4%	-4%	-2%	-2%	5%	7%	4%			
	アプライド	業界	売上高	-6%	-14%	1%	3%	14%	17%	10%	10%	10%	-1%	-1%	3%		3%	-
			ダイキン	売上高	1%	-9%	9%	11%	15%	26%	35%	16%	16%	12%	14%		16%	5%
【空調】米州	住宅用ユニットリー	RA/SKY	台数	4%	10%	4%	2%	-27%	-22%	-24%	-17%	1%	-4%	-4%		7%	2%	
			ダクトレス	台数	15%	14%	43%	-8%	-30%	-18%	-16%	-11%	10%	9%	10%		28%	7%
			VRV	台数	19%	-5%	18%	11%	1%	9%	2%	3%	-18%	-10%	-2%		12%	3%
	アプライド	現地通貨建	台数	19%	-1%	12%	31%	54%	54%	51%	34%	43%	31%	30%		16%	11%	
			売上高	-3%	11%	17%	-9%	24%	5%	9%	9%	-7%	-8%	-9%		-5%	-11%	
			業務用	現地通貨建	-10%	-2%	-8%	-11%	28%	5%	0%	0%	-6%	-7%	-11%		-4%	-10%
アプライド	現地通貨建	台数	-5%	7%	9%	7%	-3%	-10%	-3%	-10%	-10%	-19%	-19%	-17%		-11%	-11%	
		売上高	3%	9%	7%	7%	-13%	-19%	-18%	-14%	-14%	-8%	1%	0%		20%	-2%	
		業務用	SKY	台数	1%	-5%	12%	6%	4%	1%	-3%	-3%	-11%	-6%	-4%		9%	-2%
【空調】欧州・中近東	VRV	台数	6%	-10%	18%	3%	2%	1%	-1%	-2%	6%	7%	6%		17%	0%		
			H/P暖房	台数	24%	13%	65%	53%	-12%	-27%	-35%	-37%	-47%	-29%	-16%		14%	-26%
			アプライド	現地通貨建	6%	-3%	17%	23%	19%	31%	34%	25%	18%	8%	1%		7%	6%
	冷凍・冷蔵	現地通貨建	台数	6%	-3%	27%	-12%	-23%	-33%	-33%	-22%	38%	39%	48%		39%	10%	
			住宅用	台数	6%	-13%	9%	7%	4%	2%	3%	8%	8%	19%	15%		18%	13%
			業務用	SKY	台数	6%	-12%	14%	20%	8%	8%	6%	7%	16%	14%	12%		14%
VRV	台数	11%	-12%	11%	22%	19%	13%	13%	14%	14%	14%	14%	10%		19%	17%		
		アプライド	現地通貨建	20%	-2%	14%	60%	51%	23%	41%	34%	37%	9%	12%		11%	5%	
		売上高	-10%	-9%	29%	24%	-5%	-5%	-2%	0%	1%		3%	1%				
合計 化学	ガス	樹脂・ゴム	売上高	-27%	-38%	40%	47%	51%	26%	29%	25%	-3%				-2%	-3%	
			売上高	-8%	-9%	40%	30%	30%	3%	2%	2%	2%				5%	1%	
			売上高	-7%	2%	28%	27%	-28%	-25%	-19%	-14%	1%				0%	-1%	
			化成系・他	売上高														

ダイキン: 各商品が伸び悩んでいる

ダイキン 家庭向け 前年比販売動向



FY243Q 欧州はHP (ヒートポンプ)を始め苦戦中

前年度比 販売台数 実績

23年度
3Q実績

24年度
3Q実績

24年度
通期予想

ヒートポンプとは？

住宅用

-18%

0%

+20%

✓化石燃料を使用しない
環境配慮空調

SKY

-3%

-4%

+9%

✓ロシア情勢でガス価格
が高騰した際に注目

業務用

VRV

-1%

6%

+17%

✓現在は燃料価格が
沈静化したため従来商品
に**代替**されている

ヒートポンプ事業

-35%

-16%

+14%

住宅用

前年の大きな下落から
回復が遅れている

HP事業

通期は回復見通しも
勢いは弱い

総合評価

通期との乖離が目立ち
想定より苦戦

FY24 3Q 米国 需要と供給が噛み合わない

前年度比 販売台数 実績
(アプライドは売上高)

23年度
3Q実績

24年度
3Q実績

24年度
通期予想

米国の販売動向は？

住宅用

ユニタリー

-24%

-4%

+7%

✓住宅用は前年割れ、インフレ影響と環境対応機の不作

RA/SKY

-16%

+10%

+28%

✓業務用も予想比で遅れ。大型のみ好調

業務用

VRV

+2%

-2%

+12%

✓本質的な問題は足元の市場ニーズの読み違い

アプライド

+51%

+30%

+16%

住宅用

市場は旧品を望んでいるが、新製品強化中

業務用

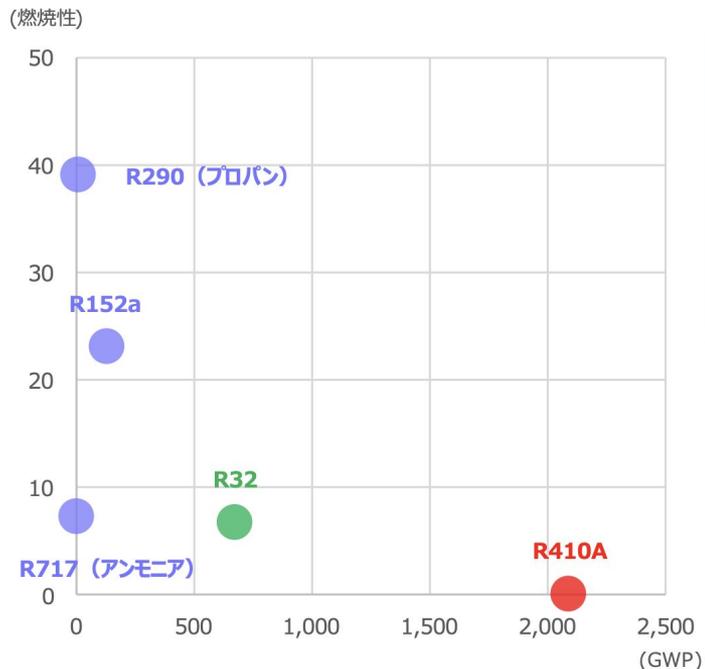
データセンター向けや学校・オフィス向けが好調

総合評価

足元の苦戦から改善/上昇していく未来が見えない

環境負荷を考慮した商品販売を行う

図表 2: 空調に使用される冷媒の GWP 値と燃焼性



代表的な温室効果ガス	地球温暖化係数 (GWP)	用途・性質
二酸化炭素 (CO ₂)	1	基準となる温室効果ガス
メタン (CH ₄)	25	稲作・家畜の腸内発酵・廃棄物の埋立てなどで発生
一酸化二窒素 (N ₂ O)	298	燃料の燃焼や工業プロセスなどで発生
HFC R-410A	2,090	ハイドロクロロフルオロカーボンの一種で不燃性のための冷媒として冷蔵・冷凍機に広く使用される代替フロン
HFC R-32	675	ハイドロクロロフルオロカーボンの一種でわずかな燃焼性があるものの比較的地球温暖化係数 (GWP) が低く新冷媒として注目される代替フロン

注: GWP (Global Warming Potential) = 地球温暖化係数、
燃焼性 = 燃焼速度 (cm/秒)

出所: 会社資料 ([会社ウェブサイト](#)) より SBI 証券作成

地産地消の市場最寄化戦略が特徴

地域による空調様式の違い

地域	市場の特徴	特徴的な製品
日本	<ul style="list-style-type: none"> 省エネや快適性を重視 建物の気密性が高い 冷媒配管を用いたダクトレス式、個別空調による都度冷暖房が一般的 	<ul style="list-style-type: none"> ビル用マルチエアコン(VRV) お掃除機能付き、除加湿機能付きエアコン「うるるとさらら」
欧州	<ul style="list-style-type: none"> 高い省エネ・環境意識 デザイン性を重視 直接風にあたること(ドラフト感)を嫌うため、特に暖房はラジエーターや床暖房が普及 既存の建物に後付けできるダクトレス式が一般的 	<ul style="list-style-type: none"> ヒートポンプ式温水暖房・給湯機「ダイキンアルテルマ」 デザイン性に優れた「Daikin Emura 3」
中国	<ul style="list-style-type: none"> 1990年以降、急速に空調が普及 内装のこだわり、高級志向 データ活用が進む 後付けが容易なダクトレス式が普及 	<ul style="list-style-type: none"> 住宅用マルチエアコン インテリジェントVRV
米国	<ul style="list-style-type: none"> エアコン発祥の地 建物内のフロアや部屋を一括して冷暖房することが好まれる 住宅用・業務用ともにダクト式(空気ダクトや水配管)による24時間全館空調が一般的 	<ul style="list-style-type: none"> 住宅用ユニタリー アプライド空調(セントラル)
アジア	<ul style="list-style-type: none"> 冷房のみのニーズが多い 高額な電気料金、電力供給が不安定 	<ul style="list-style-type: none"> 冷房専用インバータ機 高外気温仕様エアコン

世界27カ国 90箇所以上に生産拠点を構築



地域毎の異なるニーズに対して
タイムリーな商品供給が可能？

景気悪化時は業績悪化。景気変動リスク有

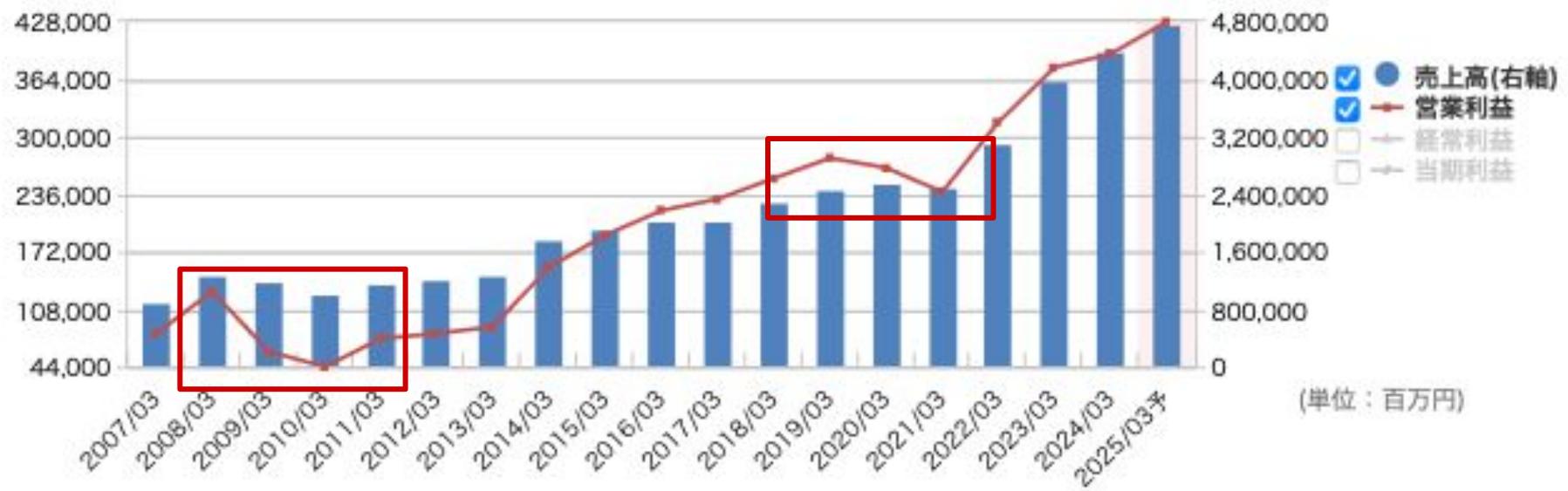
通期業績推移



全期間 

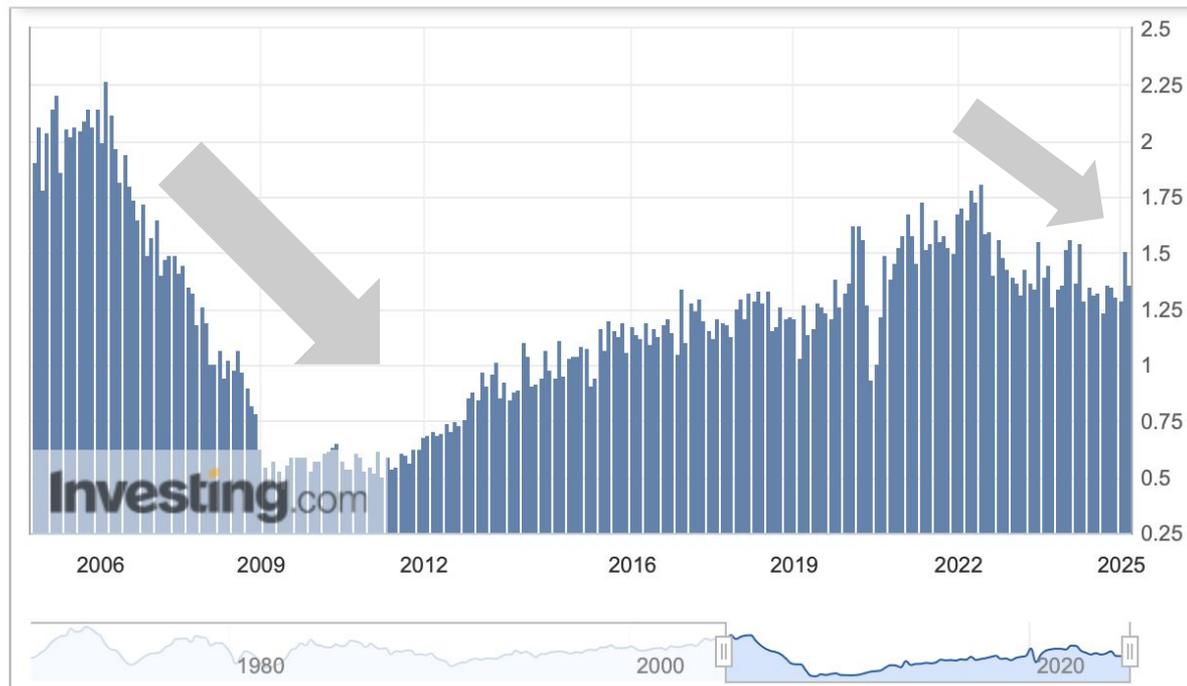
詳細: 

業績 前期比 指数 利益率 変動要因



米国:近年の住宅着工件数は緩やかに縮小

米国 住宅着工件数



日本: 中長期的に着工件数は縮小

図表1 注文住宅（持家）の新設着工戸数の推移

